



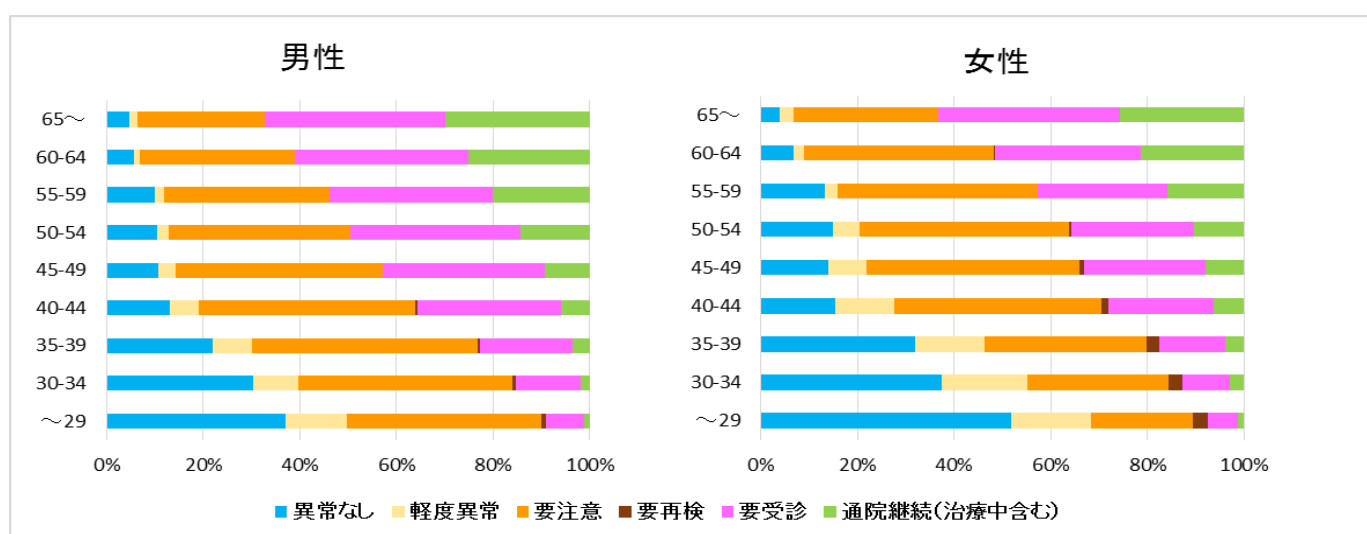
健康事業団だより



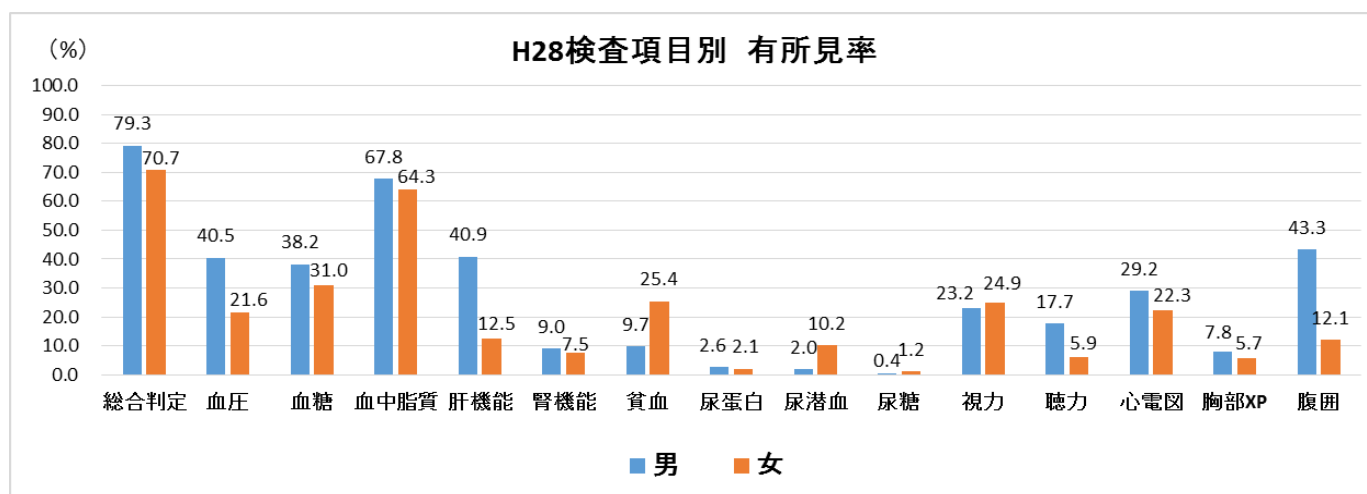
平成28年度は、約8万3千人の方が当健康事業団で定期健康診断(職域)を受けられました！

総合判定を 6 つの判定「異常なし」「軽度異常」「要注意」「要再検」「要受診」「通院継続（治療中含む）」に区分して、年齢階級別にグラフにしてみました。男女共に、年齢階級が上がるごとに、「異常なし」の割合が減って、「要受診」と「通院継続（治療中含む）」の割合が増えています。

<平成 28 年度 定期健康診断総合判定>



次に検査項目別に見てみましょう。検査項目別有所見率では、血圧、肝機能検査、聴力、腹囲において、男性が女性を大きく上回っていました。一方、貧血や尿潜血では、女性が上回り、性別で傾向が異なることがわかりました。



健診結果を、生活習慣の改善に活かしましょう。

せっかく受けていただいた、年に一度の健康診断です。検査値が年々悪くなってはいませんか？結果票の裏面の説明をよく読んで、ご自分の生活習慣を振り返り、生活習慣を改善してみましょう。平成 29 年度の健康診断の受診もお待ちしています。

5月31日は「世界禁煙デー」です

平成28年9月、厚生労働省がまとめた「喫煙と健康 喫煙の健康影響に関する検討会報告書」が出されました。この報告の中で、日本人の喫煙と各疾患の因果関係について4段階で判定されています。

レベル1	科学的証拠は、因果関係を推定するのに十分である
レベル2	科学的証拠は、因果関係を示唆しているが十分ではない
レベル3	科学的証拠は、因果関係の有無を推定するのに不十分である
レベル4	科学的証拠は、因果関係がないことを示唆している

「レベル1」と判定された疾患とは・・・

能動喫煙(喫煙者本人)

がん

肺、口腔・咽頭、喉頭、
鼻腔・副鼻腔、食道、胃、
肝、膵、膀胱、
子宮頸部のがん

循環器疾患

虚血性心疾患、脳卒中、
腹部大動脈瘤、
末梢性の動脈硬化症

呼吸器疾患

慢性閉塞性肺疾患(COPD)、
呼吸機能低下、結核死亡

その他の疾患

2型糖尿病の発症、歯周病



受動喫煙(喫煙者の周囲の人)

がん 肺のがん

循環器疾患

虚血性心疾患、脳卒

呼吸器への急性影響

臭気・不快感、鼻の刺激

母子への影響

(小児)喘息

未成年者への健康影響

(喫煙開始年齢が若いこと)

全死因死亡、がん死亡、
循環器疾患死亡、
がん罹患のリスク増加

妊婦本人の能動喫煙

早産、

低出生体重・胎児発育遅延、

乳幼児突然死症候群

(SIDS)



喫煙する際は、周囲への配慮を!!



多くの公共の施設では、禁煙・分煙対策がとられています。

喫煙習慣がある人は、会議前や訪問先に到着する前に「ちょっと一服」する習慣がありませんか？

喫煙後の数分間は、吐き出す息の中にもタバコの煙を含んでいます。また、髪にも衣服にも臭いが染みついています。訪問先や会議にて、たばこの臭いで不快な思いをさせるのはもったいないですね。

今日も、長崎県内を走っています！



公益財団法人 長崎県健康事業団

〒859-0401 諫早市多良見町化屋 986-3

TEL 0957-43-7131 (代表) FAX 0957-43-7139

<http://www.npmhc.jp>